

# 北星学園大学 後援会だより

VOL.140  
Hokusei Gakuen University  
**北星学園大学**  
北星学園大学短期大学部

発行日 2020年3月13日  
発行所 北星学園大学後援会事務局  
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号  
電話 (011) 891-2731  
印刷 山藤三陽印刷株式会社



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。  
皆さんは「世にあって星のように輝き」の建学の理念のもと、210年余の歴史と伝統を継承している北星学園の大学、短期大学部、ライブラリーの花が咲き誇るキャンパスで4年間、もしくは2年間の学生生活を謳歌されたことでしょう。そして今、多くの出会いや様々な思い出が胸に社会へ旅立つ時が来まし



志を持って旅立ち  
後援会会長 深澤 秀則

保護者の皆様にとっては、息子さんやお嬢さんが「学・短大」を卒業する日が「学・短大」を卒業する日は、安堵、喜び、感激、期待を同時に、感慨深いものがあるとともに、親戚、子離れが始まる「一抹の寂しさを感じる時」かと思えます。息子さんやお嬢さんへの物心両面からのサポート、大変ご苦労様でした。又、後援会活動に対しまして、ご理解と多大なる御支援に、中だと感じているでしょう。ただし、便利かどうかは、何と比べてのことです。現在の生活状況が変化しない限り、便利か否かはあまり気にくいくこともありません。特に、自分の住まいを離れた際、なじみの自販機が見つけられない、夜中まで開いている店がないと知る、ここは不便だと思ってしまう。これは些細な例ですが、いつの間にか細かな不便が世の中を振り回していることも必要であるといえるでしょう。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。自分の将来が、特定の人々には都合がいいので、自分の欲求が満たされる原因を他者にせいでいるのは、自分自身で守るには手取り早い方法です。自分と異なる立場の人との違いを強調し、分極化しようとするものです。他人与人の違いを見つけることは簡単なことですが、それをあきらめず、異質性を際立たせ世の中を分断し、対立を生むこととする。このような動きの先には協調的、融和的な社会は築けません。皆さんは大方は便利に世の

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。自分の将来が、特定の人々には都合がいいので、自分の欲求が満たされる原因を他者にせいでいるのは、自分自身で守るには手取り早い方法です。自分と異なる立場の人との違いを強調し、分極化しようとするものです。他人与人の違いを見つけることは簡単なことですが、それをあきらめず、異質性を際立たせ世の中を分断し、対立を生むこととする。このような動きの先には協調的、融和的な社会は築けません。皆さんは大方は便利に世の



持続する社会を担う  
学長 大坊 郁夫

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。自分の将来が、特定の人々には都合がいいので、自分の欲求が満たされる原因を他者にせいでいるのは、自分自身で守るには手取り早い方法です。自分と異なる立場の人との違いを強調し、分極化しようとするものです。他人与人の違いを見つけることは簡単なことですが、それをあきらめず、異質性を際立たせ世の中を分断し、対立を生むこととする。このような動きの先には協調的、融和的な社会は築けません。皆さんは大方は便利に世の

## 2020年度 大学行事予定

|    |        |                     |
|----|--------|---------------------|
| 3月 | 31日(火) | オリエンテーション(～4月7日)    |
|    | 2日(木)  | 入学式                 |
| 4月 |        | 定期健康診断(～4日)         |
|    | 8日(水)  | 履修登録開始(～14日)        |
|    |        | 前期授業開始              |
|    | 2日(土)  | 学園創立記念日             |
| 5月 | 18日(月) | スミス・ミッションウィーク(～22日) |
|    | 20日(水) | 後援会第1回役員会           |
|    | 30日(土) | 後援会総会・懇親会           |
| 6月 | 1日(月)  | 「後援会だより」第141号発行     |
|    | 5日(木)  | 体育祭(～6日)            |

|    |        |                                   |
|----|--------|-----------------------------------|
| 7月 | 4日(土)  | 第1回札幌地区父母懇談会<br>(大学3・4年次、短大2年次対象) |
|    | 29日(水) | 前期授業終了                            |
|    | 31日(金) | 前期定期試験(～8月7日)                     |
|    | 3日(月)  | 「後援会だより」第142号発行                   |
| 8月 | 22日(土) | 北見地区父母懇談会                         |
|    | 23日(日) | 旭川地区父母懇談会                         |
|    | 29日(土) | 釧路地区父母懇談会                         |
|    | 30日(日) | 帯広地区父母懇談会                         |
|    | 5日(木)  | 函館地区父母懇談会                         |
|    | 6日(金)  | 苫小牧地区父母懇談会                        |
| 9月 | 14日(月) | 後期授業開始                            |
|    | 30日(水) | 前期末卒業式                            |

|     |        |                            |
|-----|--------|----------------------------|
| 10月 | 9日(金)  | 大学祭(～12日)                  |
| 11月 | 7日(土)  | 第2回札幌地区父母懇談会<br>(全学年対象)    |
| 12月 | 1日(火)  | 「後援会だより」第143号発行            |
|     | 23日(水) | 年内授業最終日<br>クリスマス礼拝         |
| 1月  | 13日(水) | 後援会第2回役員会                  |
|     | 19日(火) | 後期授業終了                     |
|     | 20日(水) | 後期定期試験(～28日)               |
|     | 5日(金)  | 卒業生名簿発表                    |
| 3月  | 12日(金) | 卒業礼拝                       |
|     | 15日(月) | 卒業式・祝賀会<br>「後援会だより」第144号発行 |

# 卒業生の言葉

## 日々が学び

文学部 心連・応用コミュニケーション学科 4年

荻田 詩織

大学生活を通して実感したことは、全てが学びだということです。

最初で受講する中で、知る喜びを感じ始めてからは、何事も「学び」だと考えるようになりました。本学は教養科目も充実していて、専門科目と並行して学ぶことで思ふが繋がりを見えたり、想像以上に関心が湧いたり、知る楽しさと視野の広がりを実感しました。

また、人について学びたいと思い入学した心理・応用コミュニケーション学科では、人との関わりや実践からの学びも多くありました。多様な価値観や考えに触れ、自分の中から時々、吸収することを心がけてから、他者への関心が増し、自身と向き合い自己理解を深める大切な時間を過ごしました。

講義と人との出会いの中で、自分次第で学べることは溢れていると知りました。専属も多かったですが、それも含め大生の時間と環境は贅沢で、必要だったと感じています。卒業を遂げる今、経験全てが力になったと強く思います。私は学業とパレオの両立という自分らしい大学生活を全う出来たと、胸を張って言えます。それを支えて下さった大学の皆様、家族に心から感謝申し上げます。今後も感謝の気持ちを忘れずに、何事にも学ぶ姿勢を持って進んでいきます。

## 自信を持つことの大切さ

社会福祉学部 福祉計画学科

石崎 光一郎

北星学園大学に入学し、様々な経験をさせてもらいました。標津町という小さな町から入学した私にとって、都会というものは初めてで、すべてが新鮮でした。ほとんど知らない人々から交流することや、アルバイト、福祉に関する勉強も、それまで経験がなかったことばかりではなかったのですが、とても大きく成長できたと感じています。

その中で私が一番頑張ったと胸を張って言えるものは部活動です。陸上競技部は中学校から継続してきました。また、高校に比べ大学では自由に使える時間が多くあり、この自由な時間をいかに有効に使うかということを常に考え行動していました。そして、この時間を部活動や勉強に充てることで、自分が大きく成長できたと感じています。

大学生活を充実させることはより良い未来のためのステップであり、そのために大事なことは、自分が頑張ったと胸を張って言える武器を手に入れることだと思います。この武器のおかげで、私も第一希望である就職先に内定をいただくことができました。これからの将来、大学の学びを忘れず社会でも頑張っていきたいです。

## 挑戦と感謝

経済学部 経営情報学科 4年

中村 将

360万円。これは私が授業料として銀行で支払った合計の金額です。支払うと自分自身の金えがなくなっていきます。大学に通えることは当たり前ではない、4年間は短いので沢山のことに挑戦しようという気持ちになり、大学生活では沢山のことを経験しました。

東北や熊本でボランティア活動を行い、飲食店・コールセンター・陸上のコーチなどのアルバイトの他にサークル活動、学生団体にも所属しました。ここまで沢山のことに挑戦できたのは、家族や親戚をはじめ、先生や職員の方々、友人、先輩、後輩と私に関わってくれた全ての人たちのおかげです。困った時には手を差し伸べてくれたこと。喜怒哀楽の感情を共にしてくれたこと。企画を行う際に一緒に頑張って手伝ってくれたこと。その経験があって今があります。北星学園大学に通えていなかったら今の私はなかったと思います。4月からは社会人になり、学生時代に比べて「自由」は少なくなるかもしれません。ですが、今までの「繋がり」は消えることはないと思っています。多くのことに挑戦し、素晴らしい社会生活を送れるように頑張ろうと思っています。ありがとうございました。

## ディズニーと歩んだ短大の日々

短期大学部 英文学科

滝澤 茜

1年生の冬から2年生の夏にかけての約半年間、私はアメリカフロリダ州にあるディズニーワールドでキャストとして働きました。2年前から始まったこのプログラムは短期大学部独自のものであり、入学してすぐに興味をもちました。一次試験に入学してすぐの6月ごろにあり、短大生活が始まって早々に試験対策に入学しました。前例がないため、何もかもを先生方と手探りで模索する日々でした。しかし、本当にこのプログラムに参加したかったため、そんな模索の日々は辛くはなく、とにかく無我夢中で勉強しました。そのかいあって、見事に合格することができました。初めての留学ということもあり、緊張していましたが、アメリカ社会のいい意味で上下関係がない職場環境、日本文化が大好きなルームメイトのおかげで本当に充実した半年間を過ごすことができました。

最初の頃は、ネイティブの話すスピードについていくのが大変でしたが、最後の方は、様々な英語のイントネーションにも対応できるようになりました。ディズニーのおかげで大きく飛躍できた2年間でした。一緒に試験対策をしてくれた先生方、手続き等を準備してくれた生協の方々、そしていつも見守ってくれていた家族や友人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

後援会では以下の図書・DVDを大学に寄贈しました。

### <寄贈図書>

- アイヌ文化で読み解く「ゴルドンダムイ」
- 思ひ出のマーニ
- 日本人のひるめし (読みおぼす日本史)
- 感動の温泉旅100
- 銀河鉄道の星
- ありがとうこめんなさいもいらぬ義民と暮らし
- 人類学者が考えたこと

他

### <DVD>

- メリー・ポピンズリターンズ
- イエスマン: yesは人生のパスワード
- ハンドベル・カネ: ゆらぎ (ザ・ベスト)
- こんな夜更けにバナナかよ: 愛しき実話
- アラジン
- あいあい車

他







## リニューアルした就職支援課事務室をぜひご利用ください

2019年2月にリニューアルした就職支援課には、年間延べ約12,000名の学生が訪れています。学年を問わず、いつでも、卒業後の進路選択に係る情報収集や就職相談などで利用することができます。ここでは学生たちの将来への気づきを促せるようスタッフが個別対応し、実りある人生を築くための後押しをしています。

相談カウンターは、従来フラットだったものを、隣の席との間に仕切りを付けてプライバシーに配慮した造りにしました。また、車いすでも利用しやすいカウンターを設置しました。

学生同士の打合せやOB・OGとの懇談、少人数の説明会の場などを想定して、新たに可動式の机、椅子やモニターも備え、明るくオープンな雰囲気やディスカッションやプレゼンテーションができるエリアを設けました。

求人検索や企業研究、履歴書やES作成のために、パソコンを自由に使用することができます。

また、キャリアデザインプログラムや各種講座等の案内情報を発信するためのデジタルサイネージも設置し、必要な情報が目につきやすくなりました。

大学新卒採用のあり方をめぐり、学生の就活を取り巻く環境が大きく変化していく中で、キャリアカウンセラーを含む12名の就職支援課スタッフが、きめ細かなフォローで学生一人ひとりの夢や目標の実現を全面的にバックアップします。リニューアルしたこの事務室で就職の情報入手や相談、学生同士の情報交換の場にして、誰もが気軽に利用できるような環境づくりをこれからも進めていきます。

### 就職支援課 利用のご案内

平日（月～金） 午前 8:45～11:30  
午後 12:30～17:00

※学年を問わず在学生が利用できるのももちろん、卒業後も「卒業生用求職登録票」を提出してもらうことで利用することができます。



写真提供（上記3枚）：写真工画ピクセル・グラフィックス

## 2020年度 後援会行事のご案内

### 【総会・懇親会】

5月30日(土) 北星学園大学校舎

※総会終了後は、お子様の大学生活をより身近に感じられるキャンパス見学と懇親会を行います。懇親会には教職員も参加いたします。

### 【地区別父母懇談会】

|           |       |                                 |
|-----------|-------|---------------------------------|
| 7月 4日(土)  | 札幌会場  | 北星学園大学校舎<br>(大学3・4年次、短期大学2年次対象) |
| 8月22日(土)  | 北見会場  | ホテル黒部                           |
| 8月23日(日)  | 旭川会場  | 星野リゾート OMO7旭川                   |
| 8月29日(土)  | 釧路会場  | 釧路プリンスホテル                       |
| 8月30日(日)  | 帯広会場  | ホテルグランテラス帯広                     |
| 9月 5日(土)  | 函館会場  | フォーポイントバイシェラトン函館                |
| 9月 6日(日)  | 苫小牧会場 | グランドホテルニュー王子                    |
| 11月 7日(土) | 札幌会場  | 北星学園大学校舎(全年次対象)                 |

※学生本人を同席させての三者面談は行っておりません。

※面談後は当日お知らせいたします。

※準備の都合上、個別面談の担当がセミの担当教員とは限りませんのでご容赦ください。

※新年度に入りましたら、文書及び大学ホームページにて詳しくご案内いたします。

## 学 術 出 版 の 紹 介

### 『まちづくりの福祉社会学』

社会福祉学部福祉計画学科 杉岡 直人 教授

このたび大学後援会より2019年度の出版助成を頂くことで、退職前の2月にまちづくりに関わってきた一連の業績をまとめたものを完成させることができました。まちづくりは地域活性化、地域再生などと話題になりますが、実際には、時間的にも見通しの立たないことの方が多いといえます。私の見立てでは、他人任せではなく自分たちで解決策を考えていく文化を形成できるかどうかが決め手となるようです。

これまで、和歌山県を除く46都道府県を訪問しましたが、今回、まちづくりの新たなコンセプトや基本概念を解説した上で、過疎地における住民参加の仕組み、環境循環型の活動、こども食堂支援、地域通商、社会福祉法人や自治体の先進的取り組みなど、具体的な事例を紹介しています。

各地の取り組みで注目したことは、子どもや若者が参加することの強みです。学生の関わりによって地域の人々の参加を促し、一方、地域の人々と触れることで学生も社会生活への作法を自然に身につけていきます。自治体・地域関係者と北星学園大学との連携が、北海道のまちづくりを豊かにしていくことを願いつつ、ささやかながら応援していきたいと思っています。



### 北星学園大学教育振興寄付金ご芳名 募金のご協力に深く感謝申し上げます。

#### 【寄付】

2019年11月1日から2020年11月31日まで（昭和期）

☆大学・短期大学部（父母、理事、教職員）

渡辺 誠二 大山 綱夫  
横田 繁治郎 大村 郁夫  
谷 さつき

### あとがき

卒業生の皆様、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。在学中は温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。（後援会事務局 室山）



## パイプオルガンコンサートのお知らせ 「バロックオルガン音楽の多彩な響き」

日時：2020年5月23日(土)午後2時から 会場：本学チャペル  
第21代札幌コンサートホール専属オルガニストのアドム・クバイディ氏をお招きします。バロック音楽の響けをどうぞお楽しみください。

#### 【予定曲目】

- ・ブスティーデ：トッカータ へルwig
- ・スウェーリントン：わが青春はすでに過ぎ去り
- ・ヴィヴァルディ/J.S. バッハ：オルガン協奏曲 二重奏 他

申込先：先：府政会事務局（社会連携課）

TEL：011-891-2731 メール：dousoukai@hokusei.ac.jp

申込期間：4月27日～5月22日(金)



入場料無料  
申込